

献身のビジョン

聖書：レビ 1:3-4 前半, 9, 16. 6:8-13. 7:8. 8:18. 民 6:1-9, 22-27. 使徒 1:12-14. 26:19

- I. 全焼のささげ物（レビ 1:1-17）はキリストを予表しますが、その主要な点は、キリストが人を罪から贖うことにあるのではなく、キリストが神のために完全に絶対的であり、また神の満足のためである生活を生きることにより（3-4 節前半, 9 節. ヨハネ 5:19, 30. 6:38. 7:18. 8:29. 14:24）、またキリストが、神の民にそのような生活を持たせることができる命であることにあります（Ⅱコリント 5:14-15. ガラテヤ 2:19-20. エペソ 4:20-21）：
- A. 全焼のささげ物は、神の食物です。それは、神がそれを享受し、またそれが神を満足させ、「エホバを満足させるかおり」となるためです——レビ 1:9 後半. 民 28:2. 参照、Ⅱコリント 2:14-15. 列王下 4:8-10。
- B. このささげ物は、日ごとに、朝と夕にささげられなければなりません——出 29:38-42. レビ 6:8-13. 民 28:2-4。
- C. 全焼のささげ物の雄羊は、わたしたちに新約の祭司職を担わせる、わたしたちの全焼のささげ物としての強いキリストを表徴します（レビ 8:18）。このささげ物、すなわち、献身の雄羊（22 節. 7:37 とフットノート 1）がわたしたちに思い起こさせるのは、わたしたちが奉仕者として、神のために絶対的でなければならないが、わたしたちはそうではないことであり、こうしてわたしたちは祭司の奉仕のために、毎日キリストをわたしたちの全焼のささげ物とする必要があるということです（6:12. 参照、ヘブル 10:5-10）。
- D. 全焼のささげ物の頭の上に手を置くことは、わたしたちとキリストとの一体化、結合を表徴します。わたしたちのささげ物としてのキリストの上に手を置くことによって、わたしたちは彼に結合され、彼とわたしたちは一となります——レビ 1:4 前半：
1. そのような結合において、わたしたちのすべての弱さ、欠点、失敗は、彼によって担われ、そして彼のすべての美德はわたしたちのものとなります。このためにわたしたちは、正しい祈りを通してわたしたちの霊を活用し、経験的な方法で彼と一になる必要があります——Ⅰコリント 6:17。
 2. わたしたちは祈りを通してキリストの上に手を置くとき、命を与える霊、すなわち、わたしたちが手を置くキリストは（15:45. Ⅱコリント 3:6, 17）、直ちにわたしたちの内側で行動し、働き、わたしたちの中で、キリストが地上で生きた生活、すなわち、全焼のささげ物の生活を生きてくださいます（ガラテヤ 6:17）。
- E. わたしたちは日ごとに、キリストをわたしたちの全焼のささげ物とする必要があります（民 28:3-4. レビ 1:2-4. 6:12-13. 参照、Ⅱテモテ 1:6）。それはわたしたちが、全焼のささげ物としてのキリストの経験においてキリストを経験するためであり、外側でキリストを模倣するのではなく、わたしたちの日常生活の中でキリストを生きるためです——Ⅱコリント 5:14-15. ピリピ 1:19-21. 使徒 27:22-25. 28:3-9. Ⅰコリント 1:9。

- F. わたしたちが継続してキリストをわたしたちの全焼のささげ物とするとき、彼の美しさの外側の表現はより一層わたしたちのものとなって、彼を大きく表現します(レビ 7:8. 詩 90:17. 出 28:2. ピリピ 1:20)。また、より一層わたしたちは、わたしたちを覆う力としてのキリストを享受して、わたしたちを覆い、保護し、守っていただきます (4:13. II コリント 12:9)。
- G. 全焼のささげ物の祭壇の上の火は、絶えず燃え続けさせなければなりません。「それを消してはならない」(レビ 6:8-13)。日ごとに、また多くの事例において、わたしたちは自分自身をキリストの中で神にささげて、常にささげる全焼のささげ物とならせ、神によって燃やしていただく必要があります。それは、わたしたちが他の人を燃やすためです——参照、ローマ 12:1-2. 民 28:3-4, 9-11, 19, 26-27. 29:1-2, 7-8, 12-13, 39-40。
- H. このような献身は、「上の部屋」の献身、すなわち、わたしたちが神の永遠のエコノミーの天のビジョンと「結婚して」、我を忘れる献身です——使徒 1:12-14. 啓 3:18. 使徒 26:19-29。
- I. わたしたちは灰へと減少させられて、新エルサレムとなり、神を表現する必要があります——詩 20:3. レビ 1:16. 6:10-11. I コリント 3:12 前半. 啓 3:12. 21:2, 10-11, 18-21。
- J. 全焼のささげ物の灰は、無へと減少させられたキリストを表徴します——マルコ 9:12. イザヤ 53:3 :
1. 主の願いは、キリストにあるすべての信者が灰へと減少させられることです。
 2. わたしたちは灰へと減少させられたキリストと一であるので、わたしたちも灰へと減少させられます。すなわち、無へと、ゼロへと減少させられます——I コリント 1:28. II コリント 12:11。
 3. わたしたちはキリストの死と一体化されればされるほど、さらにわたしたちは自分が灰の堆積となったことを認識するでしょう。
 4. わたしたちは灰となるとき、もはや天然の人ではありません。そうではなく、わたしたちは、十字架につけられ、終結させられ、燃やされた人です——ガラテヤ 2:20 前半。
 5. 灰は、神が全焼のささげ物を脂肪として受け入れることのしるしです。神にとって、この脂肪は甘くて、喜ばしいものです——詩 20:3. 参照、36:8-9。
 6. 灰を祭壇の東側、すなわち、日の出の方向へ置くことは、復活を暗示しています——レビ 1:16. ヨハネ 11:25. ピリピ 3:10-11. II コリント 1:9 :
 - a. 全焼のささげ物としてのキリストにとって、灰は終わりではなく、始まりです——マルコ 9:31。
 - b. 灰は、キリストが死へと渡されたことを意味します。しかし、東側は復活を表徴します。
 - c. わたしたちがキリストの中で灰へと減少させられればさせられるほど、さらにわたしたちは東側へと置かれて、東側においてわたしたちは、太陽が昇ることと、復活の日の出を経験することを確信します——ピリピ 3:10-11。
 7. 最終的に、灰は新エルサレムとなります——啓 3:12. 21:2, 10-11 :
 - a. キリストの死は、わたしたちを終わりへともたらし、わたしたちを灰へと減少

させます。そして復活の中で灰は、神の建造のための尊い材料となります—— I コリント 3:9 後半, 12 前半。

- b. わたしたちは灰へと減少させられるとき、三一の神の造り変えの中へともたらされて、新エルサレムを建造するための尊い材料となります——ローマ 12:1-2, II コリント 3:18. 啓 21:18-21。

II. 神が願っているのは、神のすべての民がナジル人になることです。すなわち、自分自身を神へと分離して、神のために絶対的であり、完全であり、徹底的であり、神以外の何ものためでもないことです。彼らは神を愛し、神を尋ね求め、神を生き、神をもって構成されており、神をもって他の人を祝福し、神を表現します——民 6:1-9, 22-27. 詩 73:25-26. エレミヤ 32:39. II コリント 13:14. 参照、詩 110:3. マタイ 26:6-13 :

- A. 予表によれば、人類の間の唯一のナジル人は、主イエス・キリストです。ナジル人は、人性において神のために絶対的に生きたキリストの予表です——ヨハネ 4:34, 5:19, 30. 7:18. 14:24。
- B. ナジル人が分離されるのが七日間、続いたことは（使徒 21:27）、完全な期間、一生涯をも表徴します（民 6:8. 参照、I コリント 5:7-8. 出 12:15. 13:2-4, 6-9）。
- C. ナジル人だけが、主イエスの再来をもたらすことができます。神によって用いられて、時代を転換させる人はみな、ナジル人、すなわち、自発的に献身する人となって、絶対的に、徹底的に聖別されて、神へと帰されなければなりません。
- D. すべての勝利者は、ナジル人の原則の中に生き、神に対する四重の自発の献身を持ちます——I コリント 6:15-20. ローマ 12:1-2. 9:23. 参照、ダニエル 5:23 :
 - 1. ナジル人は、この世的な享受や享樂に打ち勝たなければなりません。このことは、彼がぶどう酒やその源と関係のあるあらゆるものを控えることによって表徴されます——民 6:3-4. 参照、詩 104:15. 伝 10:19. ヤコブ 4:4. I ヨハネ 2:15 :
 - a. この世的な享樂は、情欲の意図や情欲の振る舞いへと導きます。わたしたちは、新しいぶどう酒としてのキリストを享受することによって、この世的なぶどう酒を控え、神と人を喜ばせる人としていただかなければなりません——士 9:13. マタイ 9:17. I ヨハネ 2:15-17. II テモテ 3:1-5. 参照、イザヤ 42:4。
 - b. わたしたちは日々、主にあるわたしたちの喜びを維持する必要があります。「わたしは神の祭壇に、わたしの歓喜と喜びである神に行きます」——詩 43:4, 16:11. 36:8-9. 46:4. 48:2. 51:12. ネヘミヤ 8:8, 10. エレミヤ 15:16. 哀 3:21-24, 55-56. 英文詩歌, 523 番。
 - 2. ナジル人は、反逆に打ち勝たなければなりません。このことは、彼が頭を剃らないことによって表徴されます。頭を剃らないことは、主の頭首権を拒絶せずに、それに絶対的に服従することを表徴します——民 6:5. 参照、I コリント 11:3, 6, 10, 15 :
 - a. ナジル人は、主の頭首権と、神によって立てられたすべての代理権威とに、絶対的に服従します——エペソ 1:10, 22 後半-23. コロサイ 1:18. ローマ 13:1-2 前半. エペソ 5:21, 23. 6:1. ヘブル 13:17. I ペテロ 3:1-7. 5:5。
 - b. ナジル人は、頭髮に満ちた人、服従に満ちた人です。彼には、服従の雰囲気と意図があります。もしあなたがそのような人であるなら、あなたとあなたの将

来には大いなる祝福があるでしょう——コロサイ 1:18, 2:19。

- c. 「ある人やある事柄の下にあることは、祝福です。厳しく制限されることでさえ、祝福です。わたしは主に感謝していますが、わたしが回復に入ってきた日以来、主はわたしを、ある人、ある事柄、ある環境の下に置いてくださいました」——ウイットネス・リー、民数記ライフスタディ、メッセージ 10。参照、エペソ 4:1。
 - d. サムソンは、彼の母の胎にいた時からナジル人であり、彼の全生涯にわたってそうでした。サムソンの力の源は、彼の長い髪でした。このことから、服従には力があることを、わたしたちは見ます——士 16:17。参照、ヨシュア 9:14。
3. ナジル人は、死に打ち勝たなければなりません。このことは、彼が自分の最も近い親族の死によって、あるいは彼のそばにいる者の突然の死によって、汚されないようにすることによって表徴されます——民 6:6-7, 9:
- a. 死は罪よりも神の御前で汚すものです。召会生活の中で、神の民の間にさまざまな種類の霊的な死が広がるかもしれません。それは野蛮な死（獣の死体）、温和な死（家畜の死体）、あるいはこうかつな死（這う物の死体）です——レビ 5:2。啓 3:4。ローマ 8:6。
 - b. わたしたちは、「死に抵抗する」命に満ちていなければなりません。これは、わたしたちがどれほど霊を活用して祈るかにかかっており、一般的な祈りではなく、敵と戦う祈りです——Ⅱコリント 5:4, 6:1 前半。マタイ 26:41。ダニエル 6:10, 9:17。
 - c. もしわたしたちが集会で死を感じるなら、大いに祈って、その死なせる状況に抵抗する必要があります：「主よ、あなたの血でわたしを覆い、どのような死なせることにも抵抗させ、どのような霊的な死にも抵抗させてください。主よ、あなたの勝利の血でこの集會を覆ってください。この血の下で、わたしたちは神聖な命にあずかります」。
 - d. ナジル人は神の軍隊を形成するために数えられ、非常に警戒しており、死に対する戦いの感覚に満ちています。死の病原菌は召会生活の中にさえあるので、わたしたちは日ごと、時間ごとに祈り、死、すなわち神の最後の敵と戦う必要があります——Ⅰコリント 15:26。
4. ナジル人は、天然の情感に打ち勝たなければなりません。このことは、彼が父、母、兄弟、あるいは姉妹が死んだとき、彼らのために自分自身を汚さなかったことによって表徴されます——民 6:7。マタイ 12:46-50。Ⅱコリント 5:16:
- a. 天然の命とその天然の情感は、発酵させ腐敗をもたらす蜜（穀物のささげ物において、蜜は禁じられています）によって予表されます。パウロとバルナバとの間の問題は、天然の命の蜜によってひき起こされました——レビ 2:11。使徒 15:35-39, 25-26。コロサイ 4:10。
 - b. 神はわたしたちが天然の愛をもって愛することを願うのではなく、わたしたちの愛としての彼をもって愛することを願っています——ピリピ 2:2。Ⅰコリント 13:4-8, 13。Ⅱテモテ 1:7。
- E. いったんわたしたちの以前の分離が無効にされたなら、わたしたちはキリストをす

べてのささげ物の実際とすることによって、自分自身を神に再び分離しなければなりません——民 6:8-21。

- F. わたしたちが神へと分離されることは、わたしたちが神によって祝福され、神聖な三一の神聖な分与の中で神をもって人を祝福し、神の永遠のエコノミーを完成するためです—— 22-27 節. 参照、Ⅱコリント 13:14。